

工学部創立百周年に寄せて



福井大学長
上田孝典

福井大学工業会の皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。工学部は福井高等工業学校として設立されてより、昨年で記念すべき百周年を迎えました。本年7月20日には文部科学省等のご来賓をお迎えして工学部創立百周年の記念大会が行われる予定です。ご担当の皆様にはお世話になっております。1世紀にわたり学内外のOB・OG各自のご尽力によりいろいろな時代の荒波を物ともせず、新しい発想に基づき日本海側最大といわれる工学部を維持・進展させてこられた皆様に深い敬意を表します。今後も益々人に対しては優しく、またサイエンスに対しては十分な厳しい理論武装の出来る素晴らしい工学部に発展して頂きたいと祈念しております。

さて、この1年間の本学の動きですが、工学研究科においては令和5年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の公募した大学・高専機能強化支援事業に採択され、予算的には助成金額も令和5年度からの10年間で7億6千万円の交付を得て、情報系分野の充実に乗り出すことができました。学生数としては、工学研究科博士前期課程の30名の増加が可能となりました。本研究科全体のデジタルコンピテンシーの底上げも期待できます。附属国際原子力工学研究所においては、福井大学、原子力機構、京都大学とともにもんじゅサイトに設置予定の新たな試験研究炉の開発に着手しております。世界最高水準のジャイロトロンを有する遠赤外領域開発研究センターにおいては、パルステラヘルツ波技術と分光技術の融合などの研究を推進しており、この度Beyond5Gに向けた未開拓の通信基盤の確立というチャレンジングなテーマで、国立研究開発法人 情報通信研究機構より、総額約3億円の研究費を獲得しました。

カーボンニュートラルについては、昨年4月に推進本部を立ち上げ、工学部を中心に全学的に展開しており、附属ドラマチック・ウェザーサイエンス研究センターにおいては再生化エネルギーの生成技術の開発等に力を入れています。また現在、嶺南地域に力点を置いて本学に特徴的なプロジェクト型教育研究を展開しており、さらに嶺南地域共創センターを立ち上げ、嶺南の2市4町との連携による地域貢献も、北陸新幹線の敦賀乗り入れのタイミングと重なり進展しています。

教育学部は、教員養成フラッグシップ大学として全国の4大学の1校に指定され、アフリカ等の国際的教育も包含した令和の教育改革に取り組んでいます。また医学部においては、県との連携で脳卒中・心臓病等総合支援センターの立ち上げが計画されており、昨年は日本で6番目になる高度被ばく医療支援センターも完成しました。国際地域学部ではグローバル・地域定着の両面に強い人材育成も軌道に乗りつつあります。また、就職率ランキングについても国立大学中16年連続、第1位を達成しています。

福大ビジョンに述べたキャンパスライフの充実化も学生諸君の意見を参考に進めています。今後も十分に計画を実行に移すには、皆様からの基金のご寄付は誠に有り難く、心より御礼申し上げます、あわせてこれからもよろしく願い致します。

本学は、今後も4学部において卓越高度専門職業人の育成に努め、独創性に優れた研究を生み出せるよう努めたいと思いますので宜しくご支援のほどお願い申し上げます。結びにあらためて、工学部創立百周年誠におめでとう存じます。